

NII RDCによる即時OA対応の現状

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
林 正治

2025年7月4日
第3回 オープンアクセス加速化事業における
NIIの開発内容を説明する会

NII RDCのOA加速化事業の概要

図書館員が

機関の論文および根拠データを、
機関リポジトリに簡単に登録&公開できる

- 4 OAダッシュボードの機能強化（機関向け、研究者向け）
- 5 OAアシストのメール機能等の強化、APIの開発
- 6 OAアシストのポリシーDBの整備とポリシー確認機能の開発
- 7 リポジトリ（JC）でOAコンテンツを分かりやすく見せる機能
- 8 リポジトリ（JC）利用機関へのアクセスをモニタリング

政府機関が

日本のOA加速化の成果が機関ごとに確認できるようになる
日本のOS状況がわかる（G7対応含む）



研究者が

研究PJデータを、自分自身で、
または図書館を介して、
機関リポジトリへ一括登録できる

- 1 データ管理（GRDM）での査読付論文（著者最終）と書誌情報の登録機能の開発
- 2 論文と根拠データを紐づけて、メタデータをリポジトリ（JC）へ登録する機能の開発
- 3 論文登録業務プロセスの研究者と図書館の双方の負荷軽減のためのワークフローシステムの開発

- 9 CiNii Research機関向けダッシュボード
OA論文、研究データ、科研費、国際共著等に関する指標ページ構築
- 10 French Open Science Monitor日本版
（文献メタデータ取込、OA指標算出、表示ウェブアプリケーション）

即時OA義務化の円滑な運用に向けた機能を開発

前回：第2回 オープンアクセス加速化事業における NIIの開発内容を説明する会 では

図書館員が

機関の論文および根拠データを、
機関リポジトリに簡単に登録&公開できる

- 4 OAダッシュボードの機能強化（機関向け、研究者向け）
- 5 OAアシストのメール機能等の強化、APIの開発
- 6 OAアシストのポリシーDBの整備とポリシー確認機能の開発
- 7 リポジトリ（JC）でOAコンテンツを分かりやすく見せる機能
- 8 リポジトリ（JC）利用機関へのアクセスをモニタリング

政府機関が

日本のOA加速化の成果が機関ごとに確認できるようになる
日本のOS状況がわかる（G7対応含む）

研究者が

研究PJデータを、自分自身で、
または図書館を介して、
機関リポジトリへ一括登録できる

- 1 データ管理（GRDM）での査読付論文（著者最終）と書誌情報の登録機能の開発
- 2 論文と根拠データを紐づけて、メタデータをリポジトリ（JC）へ登録する機能の開発
- 3 論文登録業務プロセスの研究者と図書館の双方の負荷軽減のためのワークフローシステムの開発

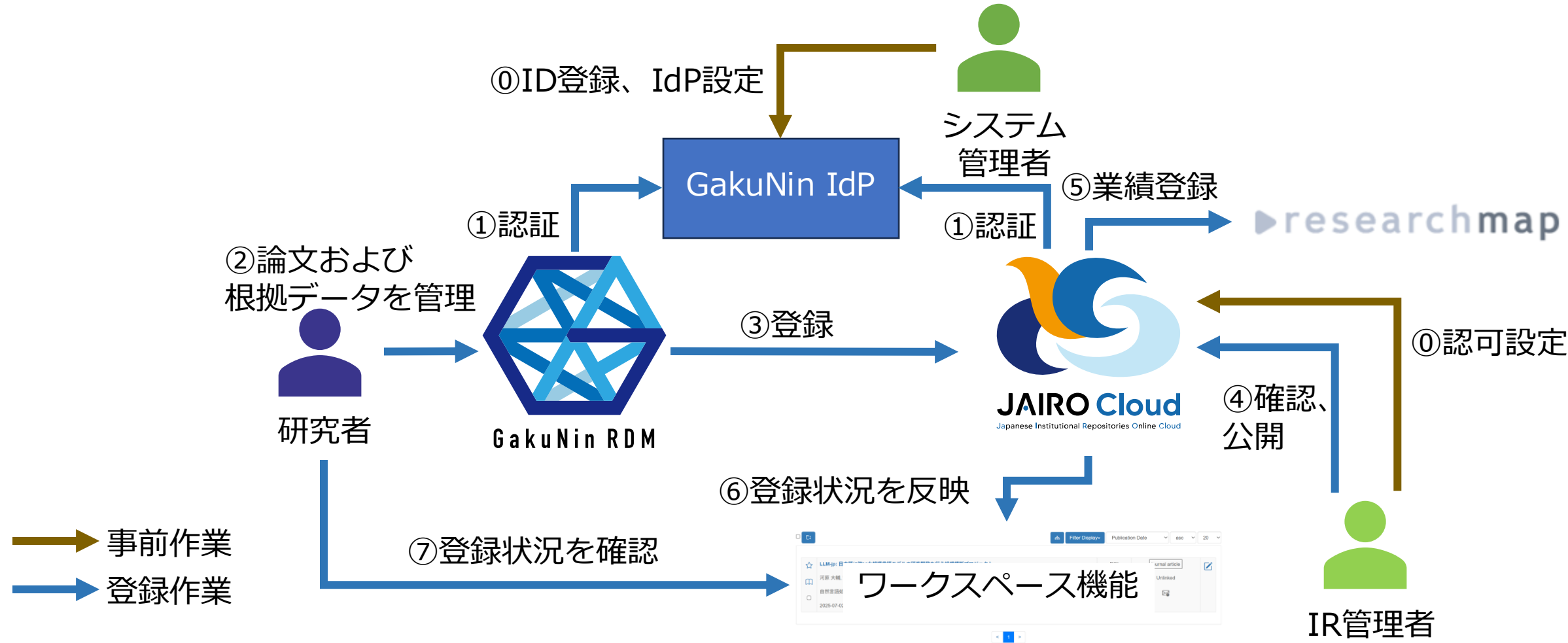


- 9 CiNii Research機関向けダッシュボード
OA論文、研究データ、科研費、国際共著等に関する指標ページ構築
- 10 French Open Science Monitor日本版
（文献メタデータ取込、OA指標算出、表示ウェブアプリケーション）

GakuNin RDM-JAIRO Cloud連携機能を中心に説明

GakuNin RDM-JAIRO Cloud (GJ) 連携機能

研究者によるデータ管理、セルフアーカイブを支援



NIIが想定する即時OA対応パターン

	推奨（GJ連携）	標準	最小
学認	○	○	-
GakuNin RDM	○	-	-
JAIRO Cloud （含むOAアシスト機能）	○	○	○
	機関IDによる研究者の データ管理、 セルフアーカイブに対応。 機関に学認IdPが必要 JAIRO Cloudへの 学認利用申請が必要※	機関IDによる研究者の セルフアーカイブに対応。 機関に学認IdPが必要 JAIRO Cloudへの 学認利用申請が必要※	IR管理者による 即時OA対応を想定 （代理登録前提）。 研究者の セルフアーカイブ対応に は、JAIRO Cloudへの 研究者ID登録が必要。
機関による即時OA支援	○	○	○
研究者による即時OA対応	◎	○	△

※JAIRO Cloud学認利用申請は即時OA機能提供後順次展開予定。詳細は別途ご案内。

GJ連携先行利用機関からのご意見・要望

• 2024年度末に実施。参加機関11機関

- 東北大学、横浜国立大学、産業医科大学、金沢大学、国立保健医療科学院、信州大学、鳥取大学、群馬大学、大分大学、名古屋大学、北見工業大学

• ご意見・ご要望

• GakuNin RDM

- 論文管理、メタデータ管理関係→UI改善
 - メタデータの入力や登録フローがわかりにくい。
 - 著者最終稿の管理ができるようにしてほしい。
- GJ連携機能関係→UI改善
 - JAIRO Cloudのインデックス選択が大量に表示されると選択しづらい。

• JAIRO Cloud

- アカウント関係→学認への本格対応
 - 教員アカウント登録は現実的でない。学認を利用したい。
- ワークフロー関係→通知機能の強化
 - 教員からの登録を図書館員に通知してほしい。
- 機関ストレージ対応→機関側の運用方針とJC機能・運用の調整
 - GakuNin RDMのように機関ストレージが利用できないか。

先行利用機関からのご意見、ご要望を
反映しながら機能提供に向けて準備中

本日：第3回 オープンアクセス加速化事業における NIIの開発内容を説明する会 では

図書館員が

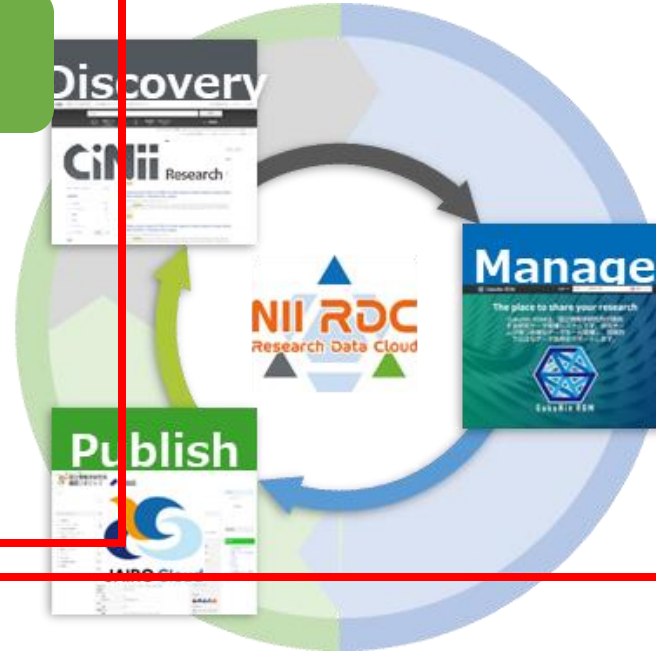
機関の論文および根拠データを、
機関リポジトリに簡単に登録&公開できる

- 4 OAダッシュボードの機能強化（機関向け、研究者向け）
- 5 OAアシストのメール機能等の強化、APIの開発
- 6 OAアシストのポリシーDBの整備とポリシー確認機能の開発
- 7 リポジトリ（JC）でOAコンテンツを分かりやすく見せる機能
- 8 リポジトリ（JC）利用機関へのアクセスをモニタリング

研究者が

研究PJデータを、自分自身で、
または図書館を介して、
機関リポジトリへ一括登録できる

- 1 データ管理（GRDM）での査読付論文（著者最終）と
書誌情報の登録機能の開発
- 2 論文と根拠データを紐づけて、メタデータをリポジトリ
（JC）へ登録する機能の開発
- 3 論文登録業務プロセスの研究者と図書館の双方の負
荷軽減のためのワークフローシステムの開発



政府機関が

日本のOA加速化の成果が機関ごとに確認できるようになる
日本のOS状況がわかる（G7対応含む）

- 9 CiNii Research機関向けダッシュボード
OA論文、研究データ、科研費、国際共著等に関する指標ページ構築
- 10 French Open Science Monitor日本版
（文献メタデータ取込、OA指標算出、表示ウェブアプリケーション）

図書館員、機関向け機能を中心に説明

NIIが想定する図書館、機関向けのユースケース

OAアシスト機能

CiNii Research
機関向け
ダッシュボード

Japan Open Science
Monitor

雑誌OAポリシ確認
メタデータ登録

JAIRO Cloud

メタデータ
整備、公開

機関でのOA対応
進捗を管理

OA実践の
可視化

研究者・機関のインセンティブへ

日本の
OA・OS状況
を国際発信

各機能の詳細はこの後の河合、西岡から報告

ご清聴ありがとうございました。
mhaya@nii.ac.jp